

富士市立高等学校 学校運営協議会		第28回	会議要旨 (令和4年度)
開催日 令和4年6月20日 火曜日 開 会 14時00分 閉 会 16時30分	会議場 富士市立高等学校 2階 会議室		
<p>出席者</p> <p>【学校運営協議会委員】</p> <p>一条聖恵 加藤 寧 茅原由美 小泉彩子 佐野 明 塩田真吾 畑 隆 畑 裕美 深澤秀文 櫻井祥行</p> <p>※齋藤しずく委員は所用のため欠席</p> <p>【オブザーバー】</p> <p>若田泰一 井上美千子</p> <p>※塩崎克幸先生は所用のため欠席</p> <p>【市立高校教員】</p> <p>小塩直浩 上野朋子 見城喜哉 中里 健 小林雄一 後藤大輝 大森昭仁</p> <p>【市立高校職員】・【市教育総務課】</p> <p>青木 洋 前田勝巳 齊藤 雅 渡邊孝広 山田英雄 * 敬称略</p>			
開会			
<p>校長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この3月に県立高校を退職して本校に赴任した。素晴らしい設備を含めて、ここで学べる生徒たちは幸せだと思う。他校から本校を見ていた時、探究学習をやることでどれだけ学力に結び付いているか、そのことで心身にどういう影響を与えているのかと関心を持っていた。 ・それから気になっているのが自己肯定感の低さ。これは前任の高校もそうだったが、よく見ると挨拶ができない子供がいる。これはやはり自己肯定感、自尊感情の低さが出ている。どこの学校も一緒だが、探究をやることでそれらを克服できればと思っている。 ・私は授業が一番だと思っているので、子供たちがどんなふう授業を受けているか、その目はどうなのかというところを見ていただき、アドバイスやご意見をお願いしたい。 <p>副会長の指名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畑会長より、本校校長である櫻井委員を副会長に指名。 <p>会長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスが依然として世界で大きな問題として続いている。昨年1年間を振り返ってみても、教育現場はコロナの影響を色濃く反映した状況であったのではないかと。 ・そのなかで富士市立高校の先生方は教育を充実させるということで頑張ってくれている。その取り組みを委員として聞くことが拝聴できることはとても嬉しい。 			

・本日は授業参観を通して生徒の姿に直に触れながら学校の様子を伺いたいと思っている。

委員、オブザーバー自己紹介

授業参観 学校内を見学しながら、PIRルームでの社会探究等を参観していただいた。

授業参観に関する質疑応答

(意見・質問等)	・数学の授業がマンツーマンの授業で行われていることに驚いた。生徒の希望に沿って授業をやられていることに感心した。
(意見・質問等)	・先ほどの授業見学で、電子黒板について教えていただいたが、他にも富士市立高校だからできることがあれば今後詳しく教えてほしい。
(意見・質問等)	・今はチョークを使っていない教室もあるということで、その施設、設備に驚いた。また、最初に見たクラスもすんなり手が挙がる。子供たちが発表することに対して躊躇しない。分からなかったら聞くという姿勢がある。3年生は発表して当たり前という雰囲気ができているのがよい。
(意見・質問等)	・毎年思うが、寝ている生徒が非常に少なくて素晴らしいと思う。機材も充実していて、先生方もそうしたものをフル活用して工夫した授業をしていると感じた。
(意見・質問等)	・最近関心があるのが個別最適化で、富士市立高校はドリカムスクールを掲げているので、一人一人の夢に近づけるためには個別最適化を念頭に入れてみても面白いのではないかと感じている。
(意見・質問等)	・特徴のある授業をされていると感じた。PIA ルームで生徒の受け答えを見ていて、最初はどうかと思っていたが、最終的にはしっかりとした回答をしていた。それだけ訓練をされているのかなと関心をした。こういう授業は保護者にも見ていただき、共有してもらって家でも話をしてもらえるとよいと思う。
(意見・質問等)	・社会探究はとても面白いと思った。新聞を切り抜いてすごく身近なところからやっている。それを自分で選んで自分なりの意見を出して、それにみんな共感して質問したりしているというのがとても良い雰囲気だと感じた。
(意見・質問等)	・高校の授業を見るのがほとんどないので新鮮だった。高校の授業はおそらく担当の先生が話す量が多いだろうと思って見ていたが、どの授業も先生が話す言葉の量よりも子供が話す場面をたくさん作ってくださり、うれしく思った。発表に対する質問、回答はその場のアドリブで勉強したことを言っていたが、どの子も質問に対する回答が的確で本当に上手だった。英語と数学の授業でも、教師が一方的に話すのではなく、生徒の姿を見て話す先生の姿を見て嬉しく感じた。
(意見・質問等)	・皆様からもお話があったように本当に施設が素晴らしい。県立高校に行くことが多いので全部にこの仕組みを入れてほしいぐらい充実していてうらやましい。
(意見・質問等)	・生徒の生き生き、伸び伸びした様子にも非常に感銘を受けた。安心安全な場作りが1年生から少しずつ積み上がってきた結果、何を言っても平気なんだというクラ

<p>(意見・質問等)</p>	<p>スの雰囲気作りができていると感じた。</p> <p>・先生方の授業の工夫も、双方向の授業と ICT の活用で、地理の授業ではグーグルを使ってスプレッドシートで入力したりして、先生方が生徒を飽きさせないような授業に取り組んでいただいていることが伝わってきて、非常に感銘を受けた。</p>
<p>(意見・質問等)</p>	<p>・最初の探究学習の発表は非常に活発な質疑をされていて新鮮な印象を受けた。それから英語の授業も電子機器を使った形で、これは時間が節約できるから非常に効率がよく、その意味では密度が高いと思った。もうちょっと立ち入って拝見して、さらに深く授業内容を知りたいという思いをさせてくれる授業だった。</p>
<p>(回答)</p>	<p>・本校は先生方のパソコンの使用率がかなり高いと思う。グーグルも昨年度から入れたが、多くの先生が色々な授業で課題の提出等をやっている。まだ本校は1人1台端末が導入されておらず、今年度中に購入する予定でいるが、導入されればかなり前に進むと思う。</p>
<p>(回答)</p>	<p>・探究の授業のなかではアクティブラーニングを取り入れている。アクティブラーニングでは、教え合っていくなかで教える人間の考えがある程度しっかりしていないと教えられないので、それによっても理解がより深まる。こうした授業をやっていると、まず1つは自分で発信ができるようになって面接の時に意見を言えるようになる。本校は国が進めている新しい試みを実際に体現している。</p>

学校からの報告

◇教育活動全般について

・現在もコロナウイルス感染症対策として朝の検温、昼食時の黙食を継続して行っている。ただ今年からは体育館での全校集会を可として、5月18日のPTA総会も集合開催で行った。

・南陵祭は、6月3日に校内で生徒のみが参加し、ステージ発表を行った。4日は一般公開し、生徒1人につき保護者1人、または中学3年生で事前に申し込んだ方のみ絞って人数制限をする形で行った。PTAバザーも活動を行ったほか、生徒会執行部がeスポーツ体験をPIRルームで行い、大盛況だった。3年生の食品販売も、コロナということで調理なしで仕入れたものを販売する形を取った。ここでも事前にグーグルで注文をして個数を確定した形で販売をした。

・他の学校にない特徴的なものとして、今年度の1年生究タイムの授業で、ソフトバンク社に協力いただき、「AIチャレンジ」というものを始めた。これは計10回の授業で、AIを使いこなせる人材の育成を目標に取り組むもので、県内では本校のみが選ばれた。人工知能を活用したプランを立てたり構築したりしている。

・ビジネス部の吉商本舗については、コロナ禍で3月末に閉店となった。

・ホームページは、昨年度から閲覧数が増えています。4月が3万、5月は4万、6月は今日の時点で3万を超えている。毎月平均で約1万3000人の訪問者がある。

◇探究学習に関する報告

・総合的な探究の時間「究タイム」では、3年次末調査を1期生の頃から行っている。令和2年

度は非常に数値が高かったので、本年度は少し下がったが、これまでの平均とは変わらなかった。本校の中心的な活動なので、今後もこのようなアンケートを取りながら見ていきたい。

・一昨年度から高校版 I R という活動をしている。高校版 I R というのは教育におけるデータ活用というもので、生徒がどう育っているかをデータでしっかり見ていこうという取り組み。溝上先生の指導の下、行っている。

・本校が C D I、地域協働、探究学習、キャリア教育、という 3 つをスクールミッションとして持っていて、その達成のために生徒にどんな力を身に付けさせたいかということで、「6 つの力」を昨年度に定め、その追跡調査も開始した。引き続き色々なことでデータを取っていきたい。

◇令和 3 年度進路状況報告

・昨年度に引き続き 9 期生も 4 年制大学が 100 人を越えたということで、目標数値をクリアできたと思う。海外のカナダの大学へ行くという生徒もいて、その生徒は直接海外で勉強したいということで在学中に英検準 1 級を取得し、海外へ進学している。

・国公立の人数は開校以来、過去最高の 12 人が合格した。そのうち静岡大学と島根県立大学は一般入試で合格している。ただ、島根県立大学に合格した生徒は私立の大学に行ったので、進学先では 11 人となっている。他にも昭和女子大学や東京理科大学、法政大学といったところへ一般入試で合格した生徒がいる。

・就職も 100% を達成している。

◇部活動報告

・チアリーダー部が東海大会で 3 位になり、全国大会に出場する予定。水泳部の高飛び込みと飛び板飛び込みはまだ東海総体が行われていないので、その結果を待っている。ゴルフ部も関東大会の出場権を獲得している。

・陸上部と柔道部も東海大会への出場を決め、週末に大会が行われた。そのなかで陸上部の女子 100 メートル、200 メートルの小針さんが両種目 2 位で全国大会への出場権を獲得した。サッカー部は東海大会レベルの大会でベスト 8 に進出している。

質疑応答

(意見・質問等)

・デジタル関係に色々と力を入れていると思うが、パソコンが非常に古くて、言うことを聞かないと聞いたことがある。その辺の更新は市でやっていただけるのか。

(回答)

・パソコンの関係なんですが、今パソコン室が全部で 5 部屋ある。8 月で 6 年が経つになるので大分古くはなる。パソコン室のパソコンと並行して、1 人 1 台端末ということで、本校については、市で用意して貸し出す形で準備を進めている。今年中に整備をして、来年の頭からはスタートができるように準備を進めている。それに合わせてパソコン室の方は、今年度中は今のパソコンを使う形になるが、来年からは新しくなるということをご理解いただきたい。

(意見・質問等)

・究タイムのアンケートで 9 期生が低くなっているのは、コロナの関係なのか。

(回答)

・そうしたことも考えたが、令和 2 年度からコロナウイルスが広がっていて、その年度については高い数値が出ていた。それが昨年度に少し下がってしまったという

<p>(意見・質問等)</p>	<p>ことで、今の段階ではまだ分析ができていない。アンケートの取り方等は同じように行った。</p>
<p>(回答)</p>	<p>・市立高校が取り組んでいる探究と生徒の進路選択というのはどのくらい関係が深いと思われるか。どのくらい役立っていると思うか。</p>
<p>(意見・質問等)</p>	<p>・1年生から3年生の探究活動に加えて、進路啓発の講演会や各学年での長期休業中の進路課題は、担任の先生方も進路に必ず役に立つということで指導している。生徒もそういった意識で究タイムに取り組んでいるので、3年生になっていざ受験をしようといった時に究タイムの力が発揮されているのではないかと思う。</p>
<p>(意見・質問等)</p>	<p>・海外へ進学をした生徒が1人いるということで、ついに海外を目指す生徒が出てきたかというイメージを持っている。多様な進路選択ということを見ると、この海外へ進学した生徒は今後大切になってくると思う。これはどういう進路指導でこうなったのかももう少し教えていただきたい。</p>
<p>(回答)</p>	<p>・昨年度の9期生の生徒は、海外探究研修がコロナの影響もあって実現できなかった。そのなかでこの生徒は語学を学べる学校へ行って、さらに留学制度が整っている大学を希望してはいたが、留学に関する費用や留学先、単位の交換条件等を自分で調べた結果、これはもう直接行ったほうが良いと自分で考えて決断した。過去にも4期生の生徒がアメリカの大学に行っていて、国外に向けた進路を考えている生徒は毎年少なからずはいる。</p>
<p>(意見・質問等)</p>	<p>・富士市立高校の大きな特徴として、今は行けていないが、海外探究研修があると思うので、当然その先には海外の大学に進学や留学するということがあると思う。もちろん先生方の負担を増やしてはいけないと思うが、他の高校だと今、国際バカロレアを進めている学校も増え、静岡大学の教育学部でもバカロレアを教える教員をどのように養成していくかということを中心に考えている。そうした情報をうまくキャッチアップしながら海外への道をその生徒を先輩として指導できる、サポートできるような体制があると良いと思う。</p>
<p>(意見・質問等)</p>	<p>・英語の力をさらに高める生徒が出てくれることはとても良いことだと思う。海外に踏み出す企業はさらに一段と大きな成長をするというのが、私が接していた企業から伝わってくるので、そうした人材が生まれてくることは大変良いと思う。</p> <p>・国公立で過去最高の12人という大変いい結果で喜ばしいことだと思う。ただ、その結果に満足されることなく、さらに頑張っていたきたい。</p>
<p>学校経営計画について</p> <p>・先ほどスクールポリシーの説明もあったが、やはり「どういう生徒を育てたいか」を頭に入れながら学校運営をしていかなければならない。</p> <p>・「自律する若者の育成」ということでCDIのC、コミュニティ・ハイスクールについては、教育基本法が改正されてから地域と学校の連携が重視されているので、そういう意味で色々なことで地域との交流は本校の教育目標として、かなり大きなウエイトを占めている。</p>	

・C D IのDはドリカム・ハイスクールで、いわゆるキャリア教育である。1年次から積み重ねてどうやって進路を持っていくか、先ほどの質問にあったように、多様な生徒を作っていくあるいは生徒の目的に合った指導をしていく。

・C D IのIは探究ということで、C D Iを基に自律する若者を作っていく。そのために何をしなければいけないのかという目標の具現化ということで、今年は5つに絞って計画を立てている。

・Aは基本的な生活指導で、まずは生徒が学校に来ることが一番大事。次に基本は授業になるが、よく部活動のために来るといって生徒がいるが、本業は授業なので授業をしっかりやっていただきたい。これは先生方にもお願いし、私も毎日授業を見ている。本当に授業が全てなので、それによって生徒はその授業を通してどう変わっていくかということで、私は教員と生徒のキャッチボールを見ている。そういうなかで生徒が単なる知識、技能だけではなく、思考力や判断力、表現力を身に付けるかである。

・Iはキャリア教育、Uは探究ということで、A・I・UはC D Iに結び付けている。Eは地域、社会に開かれた学校ということで、Oは事務方の仕事になる。このアイウエオを基に、計画ではそれぞれの数値目標を掲げ、それに向けてどうやっていくかということになっている。

学校経営計画に関する意見交換

(意見・質問等)

・先生によって色々な工夫をされているが、先ほどの授業見学の時に生徒が寝ているというのが目についた。そういうところで評価していくのも大事なかと。我々会社では研修をやる時に何を見るかという眠そうな顔をしている人をチェックして、そういう人が寝ないようにというのが第一。そういうレベルではないかもしれないが、そういうところを見ながらやっていくというのも心掛けてほしい。

(回答)

・教員の授業については校内研修をするなかで改善をしていきたい。

(回答)

・今年から新しい評価を進めていて、1人の生徒を1人の先生が見るというのではなく、学校のなかのチームで授業成果を見て、そのチームのなかで基準を作ってそれに従って評価を行っている。それをフィードバックする形で、教員の授業力が高まるようにしていきたい。

(意見・質問等)

・中学校、小学校もそうだが、1年間に必ず1回は全員の先生に見てもらおうというのを必ずやっている。昔は、中学校は教科が違っていると意見が言いにくいというのがあって、今は課題の出し方とかの研修を必ずやっているが、高校の校内研修はどんなことをやっているのか。

(回答)

・先週から授業参観の研修をやっていて、1人1回事前にこの授業を見ますというものを必ず提出して見に行き、授業をやった先生に感想やアドバイスをしている。そういったものを年に2回やっている。

(意見・質問等)

・率直なところで、何かもうちょっと工夫がないといけないという気がする。これは大学の反省だが、さらに何か工夫があればと思う。

(回答)

・6月と10月に行っている。2週間の間に授業を見るということだが、もう少し

<p>(意見・質問等)</p> <p>(回答)</p>	<p>見てもいいという気はする。教員の研修は、先週も外部の方を呼んで行っている。</p> <p>・探究の授業はどの先生も授業をやっているのか。</p>
<p>(意見・質問等)</p> <p>(回答)</p>	<p>・探究に関しては「学校全体でやっていくこと」なので、全ての先生が関わることになります。ただ、総合的な探究の時間の「究タイム」は、全学年で担任の先生ともう1人の先生がついていて、多くの先生がその授業を担当しているが、全ての先生というわけではない。また、各教科にも社会探究などの授業があるので、多くの先生が探究と名が付いた授業を行っているが、こちらも全員がそうした授業を受け持っているということではない。</p>
<p>(意見・質問等)</p> <p>(回答)</p>	<p>・探究の授業をやっていると自分の教科の授業も変わってくるような気がするが、それはあまり関係ないのか。</p> <p>・6年間究タイムの授業に関わっていたが、他の学校にはこのような授業がなかったもので、最初の年は結構新鮮だった。どうやってやったらいいか分からなかったので、先輩の教員に聞いたり、毎週必ず授業案を指導してくれる先生がいて、その会議の内容を授業に反映していったりしたが、授業をやっていくと生徒がふだんの授業よりも全然楽しそうにやるので、だったら究タイムのやり方をふだんの授業でも上手く使えないかというふうに、自分の中で参考にした部分がある。だから、究タイムを行った経験は授業に活かしていると思う。</p>
<p>(意見・質問等)</p> <p>(回答)</p>	<p>・先ほどから授業力の向上という話がずっと出ているが、先生方が授業力を上げるには今の先生方の無茶苦茶な多忙感をなんとかしない限り、いくら授業力を上げてくださと言っても、それは酷な話ではないか。小中高校の先生のお手伝いをしているのでメールのやりとりをするが、夜中の2時とか4時にメールをされている方が複数いる。そういう働き方をしているなかで先生方は疲弊しているのではないかと思うので、なんとかそこを解決して、それと並行して授業力が上げられるようになったらいいと思う。</p>
<p>(意見・質問等)</p> <p>(回答)</p>	<p>・英検とか簿記検定の取得率 80%という目標を目指すのはいいと思うが、これを生徒たちにどのように伝えているのか。例えば第1回の英検があって、そこで20%しか受からなかったとなった時、生徒たちにどういう声掛けをしているのか。学校が目標を何%と設定していても、子供たちがそれを知らなければ頑張ろうという気にもならないのかなというところがある。先生たちでは計画を共有していると思うが、生徒たちにどういうふうに共有したり声掛けをしたりしているが気になったので、そこを教えていただきたい。</p>
<p>(回答)</p>	<p>・ビジネス探究科では、商業で簿記検定の勉強もしているが、あくまでも検定を取るためだけに授業をやっているわけではないという教員の共有認識は持っている。到達点の1つとして簿記検定の取得ということでやっている。合格率については、生徒に話をしていませんが、皆で高め合って簿記検定を取得しようという話はしている。</p>

<p>(意見・質問等)</p>	<p>・生徒たちに関わる目標、学校の目指しているところを担任の先生たちがどのように生徒たちに、例えば朝読書遅刻者 120 人以内というの、どういう声掛けを担任の先生たちがしているのか。例えば小学校は朝礼があって、校長先生がみんなでこうしていきましょうということがあると思うが、高校では全校集会があるのか。</p>
<p>(回答)</p>	<p>・全校朝礼はある。目標に関することは校長が言い、具体的なことは朝の打合せや学年会で学年主任の先生がこんな感じで行きましょうということ話し、それを担任が伝えている。担任によって多少の差はあっても基本的に目標は1つ。</p>
<p>(意見・質問等)</p>	<p>・先生方は色々努力してやっている。娘が昨年度卒業して、先ほどの簿記とかその辺の話も子供同士でやっている。ということは先生が言っているのかなという認識でいる。他の学校と比べると遥かに手間をかけてくれている学校だと思うので、それがさらに高い位置になればいいと思う。</p>
<p>(回答)</p>	<p>・時間外の関係ですが、100 時間を超える先生は必ず副校長、教頭の方で聞き取りをしている。本校は若い先生方が多く、もっといい授業をやりたいということで遅くなっている。それを止めるのも非常にきついところだが、年々そういう時代が変わっているのでなんとかしたいと思う。</p>
<p>(承認)</p>	<p>・まだまだ御意見もあるかと思うが、そろそろ時間なので、皆様から令和4年度の学校経営計画及び教育方針についてご追認の了承をいただきたいが、いかがか。</p> <p>・・・異議なしとの声あり・・・</p> <p>・それでは、皆様からご承認を得られたものと判断させていただきたい。</p> <p>学校には、本日委員から出された意見を精査し、令和5年度教育方針の原案作成の参考としていただきたい。</p>
<p>閉会</p>	